

## 第50回 防衛問題セミナー

# 「国際社会の平和と安定を使命に～PKO30年と自衛隊の活動～」

### ★ 開催目的

令和4年12月5日（月）～12月26日（月）の間、第50回防衛問題セミナーをオンライン配信により開催しました。

我が国周辺海空域や台湾海峡における中国軍の活動活発化、ロシア軍によるウクライナへの侵攻による日中・日ロ関係の緊張化等により我が国の安全保障をめぐる環境は厳しさを増しています。国際社会の平和及び安全の確保と望ましい安全保障環境の創出のためには、我が国が国際平和協力活動等に継続して取り組んでいくこと、インド太平洋地域の国等に対し、国家や地域の安定化につながる能力構築を積極的に支援することが重要であり、また、それらの活動を支える派遣要員の養成が必要となってきています。

本セミナーを通じて、本年、本格的な活動開始から30年を迎えているPKOのこれまでの歩みや、今後の取り組みを紹介することにより、国際平和協力活動等の重要性・必要性や、自衛隊等の任務の崇高性及び国際社会への貢献性等を広く国民の皆様に認識していただくことを目的としています。

### ★ 講演内容



内閣府 国際平和協力本部事務局 次長

池松 英浩

内閣府国際平和協力本部事務局次長の池松 英浩氏からは「国際平和協作法30年の歩み」をテーマに、国際平和協作法の推移、国際平和協力業務の種類や各機関の役割、国連三角パートナーシップ・プログラムについてご講演いただきました。

質疑応答時には、「自衛隊関係以外の人たちが様々な国際平和協力業務が行える枠組みになっているので、様々な可能性を視野に日本としてどういった協力が可能なのか、今後も考えていく必要がある。」、「人道的な観点、日本への影響の観点から国際平和は非常に重要である。」といったご提言をいただきました。



防衛省 統合幕僚学校 国際平和協力センター長

武隈 康

防衛省統合幕僚学校国際平和協力センター長の武隈 康一 等陸佐からは「世界の平和と安定に向けた自衛隊の活動と取組」をテーマに、国内外情勢の推移と自衛隊の国際平和協力活動、能力構築支援、国際平和協力センターの教育についてご講演いただきました。

質疑応答時には、現地での国際平和協力活動に携わったご経験から「現地では隊員一人一人が日本の代表なんだという自覚を持って活動しているので、業務の仕上がりが素晴らしいものになる。」、「文化が違う国と協力する際は、共通の目的をもつこと、お互いの長所短所をよく理解しておくことが重要。」といったご提言をいただきました。



独立行政法人国際協力機構（JICA）ガバナンス・平和構築部平和構築室副室長の山下 望氏からは「平和で安定した社会づくりに取り組むJICA」をテーマに、JICAの平和構築支援の方針、平和構築支援の実績、自衛隊との協力拡大の可能性についてご講演いただきました。

質疑応答時には、「住民間での信頼づくりが強みであるので、PKO要員と協力することでよりよい支援ができると思う。」「それぞれの機関の強みを組み合わせて、その国に早期に平和が定着するようにすることが求められている。」といったご提言をいただきました。

## ★視聴者からのご感想と視聴状況

視聴後のアンケートでは、以下のような数多くのご感想が寄せられました。

### ◆講演、質疑応答について

「法制の30年の流れを、国際的な出来事とからめて、分かりやすく解説していただき、参考になりました。」「（自衛官が）活動に従事する姿勢や使命感のようなものが伝わってきた。」「平和を維持、構築するための長年の活動がとても重要なものであると認識しました。」など

### ◆プログラム等について

「事前登録がないのが良い。」「資料のPDFをダウンロード可能としていただき、ありがたかったです。」「何度でも見返せるオンライン配信はありがたい。」

など

本セミナーの開催に当たっては、内閣府国際平和協力本部事務局、防衛省統合幕僚学校国際平和協力センター、独立行政法人国際協力機構（JICA）の多大なるご協力をいただきました。

また、講師への質問は、令和4年10月に一般公募させていただきました。ご応募いただきました皆様ありがとうございました。

本セミナーは、643回の視聴をいただき、多くの方々に広く国際平和協力業務やPKO30年の歩み、自衛隊のPKO活動の実績についてお届けすることができました。



United Nations Peacekeeping Operations